



酒匂の清流

梅雨入りしたとはいえ7月の中旬は毎日暑い日が続き、熱中症が心配される陽気でした。中旬に入り、ようやく梅雨らしい雨の日が続き、朝晩には暑さが若干和らぎました。梅雨が明けたら、もっと厳しい暑さになります。暑さ対策を十分行い、体調を崩さないように過ごしたいものです。さて、今日で一学期が終わります。明日から夏休みになり、来週からは個人面談も実施されます。保護者の皆様にはご足労をおかけしますが、家庭と学校との両輪で子どもたちの1学期の成長を振り返ると共に、夏休みのしおり等を参考に充実した夏休みを過ごしてほしいと願っております。そして、8月27日（火）には、一段とたくましくなった、元気な子どもたちと会えることを楽しみにしております。

どうして一年生はアサガオを栽培するの？ ～アサガオの価値とは～

「あっ、咲いてる。」「私のは、まだかな。」「わあ、紫の花が咲いたよ。」

毎朝8時過ぎになると、校長室の窓の外から一年生の声が聞こえてきます。それは、一年生が栽培しているアサガオの水やりに来るからです。では、どうして一年生はアサガオを栽培するのでしょうか。それは次のような理由（アサガオという教材の価値）があるからだと言われています。

- ①アサガオの花は毎日咲く…栽培する楽しみや喜びを毎日実感できる。
- ②葉がハートのような形である…幼児期に描いていた花の葉と違った形である。
- ③ツル性の植物なので支柱が必要…支えてもらうことによりきれいな花を咲かせる。
- ④花が咲いた後にたくさん種ができる…種の数进行数と算数の学習につながる。
- ⑤来年の一年生にアサガオの種をプレゼントすることができる…つながりが生まれる。

このように、子どもたちが、これまでの育ちの中で出会ってきた花と、形も育て方も違うアサガオは、驚きでもあり喜びでもあります。また、アサガオの支柱のように誰かに支えてもらうことで、一人ひとりのよさを発揮できる状況が生まれることにも気付けます。

今は多様性の時代と言われています。栽培を通してアサガオの価値に触れることは、子どもたちの学びや成長につながります。夏休みには、アサガオの鉢を持ち帰ることになります。各家庭でもアサガオの価値を感じながら、お子さんと一緒に栽培を楽しんでください。



安全に、そして楽しく、水に親しんで！！ =プールでの学習=



昨年度に引き続き、今年もプールでの学習を実施できました。2年生以上は昨年度の学びを生かした学習の内容で進めました。プールでの学習が始まったころは、暑い日が続いていたので、子どもたちはプールでの学習を楽しみに、そして思い切り活動できる楽しさや水の心地よさを味わっていました。プールでは子どもたちの歓声が響き渡り、たくさんの笑顔を見ることができました。学年によっては、泳ぐことだけではなく、水中宝探しやボールを使ったゲームなど、水に親しむ活動も行いました。

一方で、子どもたちの命と安全を守るために、教職員一同、日々、熱中症警戒アラートを意識したり、暑さ指数を確認したりしながら取り組みました。また、海や川での水の事故や、高知県でおきた授業中のプールでの事故のニュースを聞くと、監視体制や安全管理を徹底することの大切さも再認識しました。今年度のプールでの学習も、事故がなく終えることができました。これも、プールの見守りボランティアの方々のご協力や、保護者の皆様が子どもたちの健康管理に配慮してくださったお陰と感謝しております。プールでの活動経験を生かして、夏休み中も水の事故に遭うことがないよう、海や川、プール等では、安全に気を付けて楽しんでほしいです。